

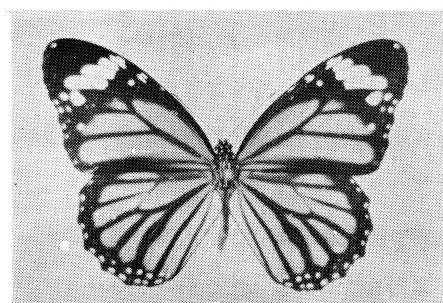
福井県における未記録の迷蝶、2種について

下野谷 豊一

蝶をはじめ各種の昆虫は通常一定の分布圏内に棲息しているが、蝶の場合、ときおり台風やその他の気象条件などにより、遠く離れた地域へ運ばれるようにして移動することがある。このような蝶を一般に迷蝶 (Migrant Butterfly) と云うが、日本でも台風のよく接近する九州や四国あたりでは、毎年このような迷蝶が発見されている。

従来より、福井県下ではこのような迷蝶の記録はなかったが、1969年8月23日に金津町旭で、白井昭義氏 (「昆虫と自然」Vol. 1V. No. 11, p34) により、ウスイロコノマチョウ *Melanitis leda* Linnaeus が1♂採集されている。

1969年～1970年は迷蝶の当り年といわれる程、各地で多くの迷蝶が発見され、日本では沖縄、台湾方面のもの、沖縄では台湾、フィリピンのもの、台湾ではフィリピンのものが多く採集されているが、福井県内でもウスイロコノマチョウの他に、1969年、1970年に各々1種づつの本県より未記録の迷蝶が採集されたので以下に記録する。



なお、日頃よりの熱心な採集により、これらの興味ある種を発見され、材料研究の機を与えられた、坂井中学校の伊藤省一君に感謝の意を表したい。

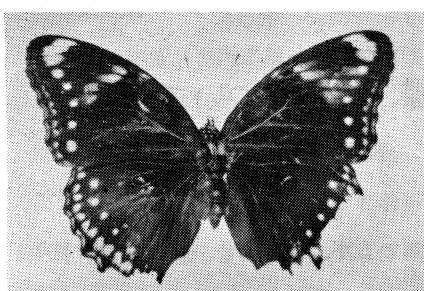
Salatatura genutia Cramer スジグロカバマダラ (Fig. 1)

1♂ 坂井郡金津町宮谷、Aug 24. 1970

前翅長 46mm

本種は東洋熱帯に広く分布し、琉球南部にも普通に産するが、迷蝶として日本各地で割と多く発見されている。

今回金津町で得られたものは、極めて新鮮な個体で、とても遠く離れた地域より飛来したものとは思えない位のものであるが、これは台湾、琉球南部よりの迷蝶と考えられ、又、日本における最西北の記録である。なお、採集者の話によると、この個体は低い草に静止中のものを採集したことである。



Hypolimnas bolina kezia Butler

リュウキュウムラサキ (Fig. 2)

1♀ 坂井郡坂井町五本 Aug 13. 1969

前翅長 42mm

本種もまた、日本で迷蝶として割と多く発見されるものの一つで、極めて分布の広い種で、東洋熱帯から、遠くはマダガスカルにまで分布し、多くの亜種にわけられている。

日本国内で得られている本種の迷蝶には、ssp. *kezia* Butler (台湾産亜種)、ssp. *philippensis* Butler (フィリピン産亜種)、ssp. *palauensis* Fruhstofer (パラオ群島産亜種) の3亜種が含まれており、今回、採集されたものは、前翅表面の白色斜帯の発達が悪く、台湾に産するssp. *Kezia*によく一致し、明らかに台湾のものに由来する迷蝶と考える。

この個体は飛翔中のものを採集したもので、その前日にも、この種と思われるものを同じ場所で目撃した由である。